

# 「ヒバクシャ国際署名」をすすめる岩手の会ニュース

## ヒバクシャ署名岩手の会が初の宣伝・署名行動！

—28人参加で49筆の署名—



3月21日（火）12時15分からの昼時間、盛岡市野村証券前交差点でヒバクシャ署名をすすめる岩手の会が初の宣伝・署名行動を展開。4つの幹事団から28人が参加し、県被団協三田副会長、平和環境県センター野中議長、県原水協金野常任理事、県生協連三浦事務局担当が交代でマイクを握り、通行人に署名を呼びかけました。“達増知事も署名しました”と書かれた横断幕に頷き署名した女性、「戦争は嫌だ。核保有国は核兵器の危険性を本当に判っているのか」と怒り。3歳の息子を連れた母親は「国連の交渉会議に出ない日本政府は良くない」と語気を強めました。

自転車で信号待ちをしていた高校生の集団が、「署名、やるやる」とわれ先にと署名に応じる姿もあり、30分で49筆の署名が寄せられました。5月14日つどい（下記参照）のチラシも配布しました。

シールアンケートも行われ、学生や高校生、小学生の集団が応じてくれました。

この行動は、全国連絡会が3月27日開会の核兵器禁止条約交渉会議成功へ世論を結集しようと、22日前後に宣伝署名行動を全国に呼びかけたものです。

### 原爆パネルを使いながら645筆の署名集める

山田町の佐藤照彦さんは、自身が運営する障害者施設の利用者や近所、知り合いなど幅広く声を掛け、これまでに645筆の署名を集め、県原水協の事務所に届け、さらに新しい署名用紙を取り寄せがんでいます。645筆の署名には、現職町長など町の名士も名を連ねています。

### 「日本政府に対し、核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するように求める請願」県議会で採択



県被団協と県原水協が共同で提出した標記の請願が16日の総務常任委員会で採択され、22日の本会議に上程されました。本会議では、自由民主クラブが反対しましたが、賛成多数で採択され、日本政府に意見書が送付されます。全国で同請願が採択・可決されたのは岩手が最初です（22日現在）。



3月21日、藤倉民青県委員長が「岩手の会」いっせい宣伝署名行動時に学生、高校生、小学生の集団に行ったシールアンケートの結果。

- 国連の動きは意外と知られている。
- 日本政府の対応はまだまだ知られていない
- 対話で知らせれば、署名も応じやすい。

## 「いまこそなくそう核兵器！ in岩手」

…「ヒバクシャ署名岩手の会」キックオフ集会…

日時：5月14日（日）午後1時30分～3時30分

会場：サンビル7階ホール

内容：

- 被爆3世林田光弘さんのスピーチ
- 岩手の学生や若者とのパネルディスカッション
- ヒバクシャ署名取り組みの経験交流
- 各界からの激励あいさつ

※参加無料、どなたでも参加できます

ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダー  
林田光弘さんを囲んで

★署名の集約を4月26日に行います。それまでに集めた分を県被団協に届けて下さい。また、中央本部に提出した数も報告をお願いします。